エピソード from ピエトロ物語

「洋麺屋」という独自の発想から生まれ今も伝わるオリジナルメニューの数々。

創業当時のメニューに書かれたピエトロのオリジナルメニューは
ゆでたスパゲティを好みのソース（トマト、醤油、クリーム）で
召し上がっていただけるように
創業社長の村田が創意工夫して考案したものです。
さらに具材も自由に選んでいただくことにより
お客様の好みの味をお作りすることができました。
また、高菜、明太子、納豆といった和風メニューも
創業当時からのオリジナルです。
その原点は、日本人の大好きな炊き立てのご飯に合う食材なら
ゆでたてのスパゲティと合わせても絶対においしいはずという
独自の発想からでした。
麺好きな日本人の感覚に合った
“和と伊（イタリアン）の融合”したスパゲティを提供することが
ピエトロの原点である「洋麺屋」のコンセプトとなりました。

財務ハイライト

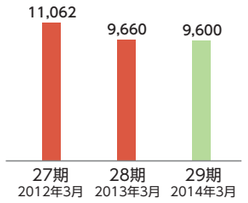
売上高

(単位:百万円)

96億円

前期比

0.6%減



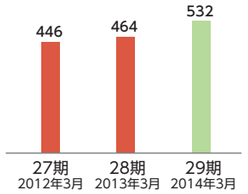
経常利益

(単位:百万円)

5億円

前期比

14.6%増



当期純利益

(単位:百万円)

2億円

前期比

8.9%増

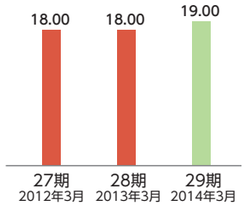
1株当たり年間配当金

(単位:円)

19.00円

配当性向

44.4%



株主の皆様へ

代表取締役社長

村田邦彦

株主の皆様におかれましては、
格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに当社2014年３月期の
事業の概況についてご報告申し上げます。

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出企業を中心に企業の業績が改善するとともに、雇用・所得環境の持ち直しにより個人消費も緩やかに回復する状況で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向が続くとともに、仕入れコストやエネルギーコストの上昇など、厳しい環境にあります。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供をとおして、さらなるブランド価値向上に努めております。

当連結会計年度の売上高は、食品事業が増収となった一方で、通信販売事業及びレストラン事業が減収になり、96億円（前期比0.6％減）となりました。

利益面では、食品事業の売上増に伴う増益とコスト管理の強化等により、営業利益は５億44百万円（前期比14.5％増）、経常利益は５億32百万円（前期比14.6％増）、当期純利益は２億39百万円（前期比8.9％増）となりました。

今後の見通し

2015年３月期の経営環境につきましては、政策効果等により景気回復基調にあるものの、消費税増税による影響や原材料価格の上昇など、予断を許さない状況が続くものと思われます。

2015年３月期の連結業績予想につきましては、食品事業及び通信販売事業において、健康志向が高まるお客様のニーズにあわせた高付加価値商品の開発を行うとともに、商品情報の発信力を強化して、売上拡大を図ってまいります。また、レストラン事業においては、新規出店、店舗のリニューアル、新業態の開発などをとおしてサービス向上を図り、集客力の強化を図ってまいります。

以上のことから、売上高は105億円（前期比9.4％増）、営業利益は５億60百万円（前期比2.8％増）、経常利益は５億40百万円（前期比1.5％増）、当期純利益は２億50百万円（前期比4.5％増）を予想しております。